

サルメシ2

アビシニア コロブス 編

現在、世界には約450種ものサルの仲間が暮らしています。

サルの仲間は、森で暮らすことを選択し、樹上で特徴的な進化をしました。

特にその食性はとてもバラエティに豊んでおり、果物だけではなく

昆虫・樹液・樹皮・動物の肉・魚介類など様々です。

ここでは、特に変わりもののアビシニアコロブスについてご紹介いたします!

主食は木の葉

多くのサルのごはんは果物がメインですが、アビシニアコロブス(以下コロブス)は、なんと「木の葉」を主食にしています! 森にはたくさんのサルが暮らしており、その中で生きぬいていくため、それぞれが独自の進化をくり返してきました。コロブスにとっては、木の葉を主食にした方が生き残るためには有利だったのかもしれません。

見た目はサル、おなかはウシ!?

木の葉を主食としているコロブスは、他のサルと比べて胃がとても大きく、ウシのようにおなかの中に微生物を飼っています。コロブス自身はセルロースを消化することはできませんが、微生物に分解してもらうことで、木の葉から栄養をとっています。

胃の形

ヒトと比べてみると、こんなに形がちがいます。

ヒトの胃



アビシニアコロブスの胃



大森山のコロブス定食

木の葉

- ・カエデ・サクラ
- ・クリ・クワ
- ・ドンブリ・ケヤキ
- ・フヌギ・マサキ
- ・ナラ、コナラ、シラカシ、カシワ

果物・野菜

- ・リンゴ・チンゲン菜
- ・バナナ・キャベツ
- ・ニンジン・レタス
- ・じゃがいも・白菜
- ・小松菜・大根葉

その他

- ・ヤブガラシ・イタリアンライグラス
- ・ドクダミ・ミレット
- ・クズ・スダックス
- ・アジ・クローバー



ここがポイント

主食は木の葉ですが、果物を全く食べないわけではありません。動物園でも、足りない分は果物や野菜で補っています。また、野生では多くの種類の木の葉を食べているため、毎日同じものではなく、なるべく多くの種類の木の葉を採ってきて与えるようにしています。

ふく 膨らんでるのど袋 ぶくろみ 見られたら Lucky♪ ラッキー

顔かおの下したにあるしおしおの皮かわ...
あれが「のど袋」です!

フクロテナガザルといえば、その名前なまえの由来ゆらいにもなっている。「のど袋」が特徴とくちょうですよね!
こののど袋の役割やくわりは、ずばり「大きな声おおこえを出すため」です。
では、なぜ大きな声おおこえを出さなければいけないのか?
その答えこたは、テナガザルの歌うたに隠かくされていました!

なぜ歌を歌うのか

テナガザルが歌うたを歌うたう理由りゆうのひとつは、「縄張りなわばの主張しゅちやう」です。それぞれが大きな声おおこえで歌うたうことで、縄張りなわばの重複じゅうふくを防ふせぎ、無駄むだな争あそいを避さけることができるといわれています。
フクロテナガザルは「のど袋」のおかげで、テナガザルの中でもひととき大きな声おおこえを出すことができ、そして長い時間ながいじかん歌うたえるのだとか!
そしてもうひとつ、夫婦ふうふの絆きずなを深ふかめる役割やくわりがあるとも言われています。
当園とうえんのパピヤぱひやとワタルわたるは、まだまだ下手へたっぴではありますが、これからどんどん上手じょうずになっていくことでしょう♪



ホア
ホア